魅力たっぷり津軽周遊

稲垣温泉連泊で行く 五所川原立佞武多と青森ねぶた祭

掲載No	東京発	6AEB5C30
11	大阪発	6CEB5C30

東京・大阪発

食事 朝2、昼3、夕2

▶最少催行人員：11名

催行決定

出発日	8月4日

旅行代金(大人おひとり様)

出発地	3人1室	2人1室	1人1室
東京発	166,000円	169,000円	185,000円
大阪発	196,000円	199,000円	215,000円

※東京・大阪の共同募集コースです。添乗員は初日東京駅から最終日東京駅まで同行します。
※利用バス会社：弘南バスまたは十和田観光電鉄
※名古屋発着、現地合流についてはP59をご参照下さい。
※写真は全てイメージです。

行程 →バス ⇒航空機 …徒歩 ＝列車 〜船 ++その他

日	行程	
1	東京（10:20〜12:20発）＝大宮＝新青森	新大阪（7:30〜9:30発）＝京都＝名古屋＝東京＝新青森
	→稲垣温泉・ホテル花月亭（休憩）→五所川原（早夕食後、圧倒的な迫力の巨大な「**立佞武多**」を観覧席にて見物）→夜：稲垣温泉・同宿泊（奥津軽の名湯、**源泉掛け流しの宿**）	
2	午前：宿→**津軽三味線会館**（演奏ライブ）…**太宰治記念館**（斜陽館）→**太宰治疎開の家**（旧津島家新座敷）→芦野公園（**太宰治文学碑**）…芦野公園＝**津軽鉄道・風鈴列車**［自由席］＝津軽五所川原→**棟方志功記念館**→青森市内（早夕食後、観覧席にて熱狂の「**ねぶた祭**」を見物）→夜：稲垣温泉・同宿泊	
3	午前：宿→**鶴の舞橋**（岩木山を背景に架かる全長300mの優雅な橋）→**盛美園**（和洋折衷様式の館、国指定名勝）…**猿賀公園**（一面に咲く淡いピンク色の蓮の花）→	
	新青森＝大宮＝東京（17:30〜19:30着）	新青森＝東京＝名古屋＝京都＝新大阪（20:30〜22:30着）

稲垣温泉・ホテル花月亭 露天風呂

五所川原立佞武多

「青森のねぶた」と「弘前ねぷた」と並ぶ青森三大佞武多の一つで、高さが最大で20mを超える山車の壮大な運行が魅力です。

太宰の故郷・金木で津軽三味線ライブや津軽金山焼の風鈴を客車内に吊るし、俳句の短冊を下げた夏の津軽の風物詩・津軽鉄道　風鈴列車にも乗車。奥津軽の名湯・稲垣温泉に連泊で、青森の祭を楽しみます。

1･2泊目は祭り会場から徒歩圏内ホテル

夏祭り堪能　立佞武多・弘前ねぷた 青森昼ねぶたと海上運行花火大会

掲載No	東京発	6AEB5C40
12	大阪発	6CEB5C40

東京・大阪発

食事 朝3、昼4、夕3

▶最少催行人員：12名

旅行代金(大人おひとり様)

出発日	出発地	3人1室	2人1室	1人1室
8月5日（催行決定）	東京発	195,000円	199,000円	219,000円
	大阪発	225,000円	229,000円	249,000円

※東京・大阪の共同募集コースです。添乗員は初日新大阪駅から最終日新大阪駅まで同行します。　※利用バス会社：弘南バス、十和田観光電鉄、三八五バスのいずれか　※部屋タイプ：洋室（1泊目はシングルルーム利用）　※名古屋発着についてはP59をご参照下さい。　※写真は全てイメージです。

弘前ねぷたまつり

行程 →バス ⇒航空機 …徒歩 ＝列車 〜船 ++その他

日	行程	
1	東京（10:20〜12:20発）＝大宮＝新青森	新大阪（7:30〜9:30発）＝京都＝名古屋＝新青森
	→夕刻：ホテルサンルート五所川原泊（早夕食後、ホテル目の前から圧倒的な迫力の巨大な「**立佞武多**」を自由見物、シングルルーム利用、天然温泉）	
2	午前：宿…五所川原＝**津軽鉄道・風鈴列車**〔自由席〕＝金木→**太宰治記念館**（斜陽館）…**津軽三味線会館**（演奏ライブ）→**太宰治疎開の家**（旧津島家新座敷）→午後：アートホテル弘前シティ泊（早夕食後、観覧席にて「**弘前ねぷたまつり**」を見物）	
3	午前：宿→**田舎館村田んぼアート**（稲を使って巨大な絵や文字を浮かび上がらせる圧巻の田んぼアート）→青森市内（観覧席にて「**昼ねぶた**」を見物）→**棟方志功記念館**→青森市内（早夕食後、観覧席にて祭のフィナーレ「**ねぶた海上運行と青森花火大会**」を満喫）→夜：弘前・同ホテル泊	
4	午前：宿→**八甲田山**（ロープウエーで山頂駅へ展望散策）→**八甲田ホテル**（ブナの森に抱かれた名リゾートにてシェフ自慢の洋食コース昼食）→	
	新青森＝大宮＝東京（18:00〜20:00着）	新青森＝東京＝名古屋＝京都＝新大阪（20:30〜22:30着）

大迫力の五所川原立佞武多

青森花火大会とねぶた海上運行

青森県の代名詞ともいえる「ねぶた」を各所で満喫します。五所川原ではホテルの目の前を通る大迫力の立佞武多、運行スタート地点で見物する弘前ねぷた、そして青森では祭り期間の最終日なので昼間の運行と夜の海上運行をお楽しみいただけます。一泊目のホテルには天然温泉もあり、連泊する弘前のホテルではシモンズ製のベッドでごゆっくりとお休み下さい。